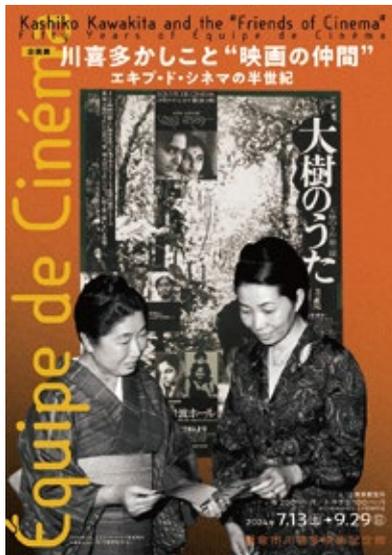


世界の映画芸術を愛好する仲間を増やし、
女性監督の活躍の場にも尽力したふたりの足跡をたどる企画展

〔企画展〕川喜多かしこと“映画の仲間”エキブ・ド・シネマの半世紀

会期：7月13日（土）－9月29日（日）

企画展観覧料：一般200円、小・中学生100円 ※鎌倉市民は無料（要証明書）



1974年2月12日、サタジット・レイ監督のインド映画『大樹のうた』（1959年）の上映をきっかけに発足した〈エキブ・ド・シネマ〉は、主宰者である川喜多かしこと高野悦子のふたりの活動から、映画を愛する仲間たちが次第に集い、やがて大きな上映運動へと発展していきました。フランス語で“映画の仲間”を意味する〈Équipe de Cinéma〉は、「世界の埋もれた名画を発掘・上映する運動」としてスタートし、岩波ホールを拠点として、約半世紀のあいだ日本における映画文化の根幹を担ってきました。その精神は、川喜多かしこと高野悦子が亡くなり、岩波ホールが閉館したあとも、その薫陶を受けた多くの者たちによって継承されています。

本企画展では、単館ロードショーやミニシアターの先駆けとなった〈エキブ・ド・シネマ〉の足跡を回顧し、半世紀にわたり世界各地から集めた名作の数々を紹介します。

◆エキブ・ド・シネマの活動とは？◆

1. アジア・アフリカ・ラテンアメリカなど 日本では上映機会の少ない地域の映画の紹介
2. 欧米の映画でも大手興行会社に取り上げない名作の上映
3. 未公開あるいは不完全な形で公開された、映画史上の名作の上映
4. 日本映画の名作を世に出す手伝い

4つの目標を掲げてスタートしたエキブ運動は、これまでの映画興行にはみられなかった日本初となる試みを幾つも行いました。2022年7月29日の岩波ホール閉館まで、エキブ・ド・シネマは66の国と地域、274作品を上映しました。

◆上映◆

映画鑑賞料金：一般1000円、小・中学生：500円（展示観覧料含む）

『宋家の三姉妹』（1997年／香港＝日本）

『ハンナ・アーレント』（2012年／ドイツ＝ルクセンブルク＝フランス）

『ルートヴィヒ』（1972年／イタリア＝西ドイツ＝フランス）

『少女は夜明けに夢をみる』（2016年／イラン）

『惑星ソラリス』（1972年／ソ連）

『ニューヨーク公共図書館 エクス・リブリス』（2017年／アメリカ）

『伽椰子のために』（1984年／日本）

『眠る男』（1996年／日本）

『大樹のうた』（1959年／インド）

『歩いて見た世界 ブルース・チャトウィンの足跡』（2019年／イギリス＝スコットランド＝フランス）

『奇跡』（1954年／デンマーク）

『ピロスマニ』（1969年／ジョージア（製作時 ソ連））



『宋家の三姉妹』



『奇跡』

※詳しい上映スケジュールは当館HP
(<https://kamakura-kawakita.org>) をご覧ください。
※チケットは原則として前月第2土曜日より販売⇒記念館窓口
※チケットが完売した場合はご入場いただけません。

*ギャラリートーク：7月24日（水）、8月21日（水）、9月18日（水）
各日13時～（約40分）ギャラリートーク後に、旧和辻邸見学ツアー
（希望者のみ）を行います。（10分程度）
*上映解説：9月23日（月・振）午後の『奇跡』上映終了後（約40分）

◆見どころ◆

- ★エキブ・ド・シネマの主要作品を含む約 100 点のポスターを展示。
- ★エキブ作品公開時、監督や出演者が岩波ホールに来日した際の写真をポスターや資料とともに展示。
- ★岩波ホールの映画館の座席を展示。実際にお座りいただけます。ホールのロビーやエントランス、座席表、劇場内風景の写真とともに、岩波神保町ビルのホールを再現。
- ★サタジット・レイ夫妻から川喜多夫妻に届いた貴重な書簡を展示。インド本国で公開されたときのオリジナルポスターなども数点展示しています。

◆イベント情報◆

2024年8月10日(土) 14時～

トークイベント「高野悦子さんの面影」

ゲスト：石井淑子さん(元・岩波ホール)

はらだたけひでさん(絵本作家/ジョージア映画祭主宰)

1968年の岩波ホール創立と同時に総支配人に就任し、74年からは川喜多かしことともにエキブ・ド・シネマを主宰、2013年に逝去されるまで映画上映運動に尽力した高野悦子さん。初期の活動から岩波ホールのスタッフとして高野さんとともに歩み、長らく秘書を務められた石井淑子さんと、同じく岩波ホールで企画広報を担当し、『ピロスマニ』をはじめとするジョージアの映画と文化に魅せられ、閉館後もジョージア映画祭を主宰されているはらだたけひでさんにお越しいただき、エキブ・ド・シネマの活動と高野さんとの思い出を語っていただきます。

一般：1000円 小・中学生：500円 チケット発売中



2024年9月7日(土) 13時30分～

特別上映『伽倻子のために』+ トークイベント

ゲスト：小栗康平さん(映画監督)

デビュー作『泥の河』を公開前にひとめで気に入り、〈『泥の河』をほめる会〉を組織し、小栗康平監督のサポートをしてきた川喜多かしこと高野悦子。『伽倻子のために』をエキブで、という監督の申し出を即座に承諾し、96年公開の『眠る男』は岩波ホールで約半年間にわたるロングランヒットとなりました。小栗監督をお招きし、上映後にお話を伺います。

一般：1600円、小・中学生：800円 チケット発売日：2024年8月10日(土)



お問い合わせ：鎌倉市川喜多映画記念館(担当：馬場)

〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下2-2-12

TEL:0467-23-2500 / FAX:0467-23-2503

MAIL:contact@kamakura-kawakita.org

HP:https://kamakura-kawakita.org

Kamakura City Kawakita Film Museum

鎌倉市川喜多映画記念館